



新渡戸稲造肖像画・墨跡掛け軸の寄贈について（お知らせ）

7月17日（金）、新渡戸稲造肖像画・墨跡掛け軸の2点の資料が大学文書館に寄贈されました。

資料寄贈の経緯について：

2015年6月17日、吉田迪弘名誉教授から、新渡戸稲造肖像画・墨跡掛け軸を所蔵されているお知り合いである五十嵐晃彦氏が、北海道大学へ掛け軸を寄贈されるご意向をお持ちとのご連絡をいただきました。北海道大学の歴史に関する資料の収集・整理・保存・公開を行っている大学文書館において、ご寄贈をお受けすることとし、吉田名誉教授、五十嵐氏とご連絡を取り、資料寄贈に至りました。

寄贈資料について：

(1) 新渡戸稲造肖像画掛け軸

新渡戸稲造の晩年に近い時期の肖像画と思われます。新渡戸の肖像画はそれほど多くはなく、希少なものであると考えられます。署名の作者については、今後、調査を進める予定です。

(2) 新渡戸稲造墨跡掛け軸

1918（大正7）年6月9日に揮毫した新渡戸稲造自筆の墨跡です。この年、新渡戸は東京女子大学初代学長に就任します。翌々1920年には国際連盟事務次長に就任してジュネーブ（スイス）を中心に国際舞台で本格的な活動を開始しますので、日本を中心に活動していた最後に近い時期の作品と言えます。

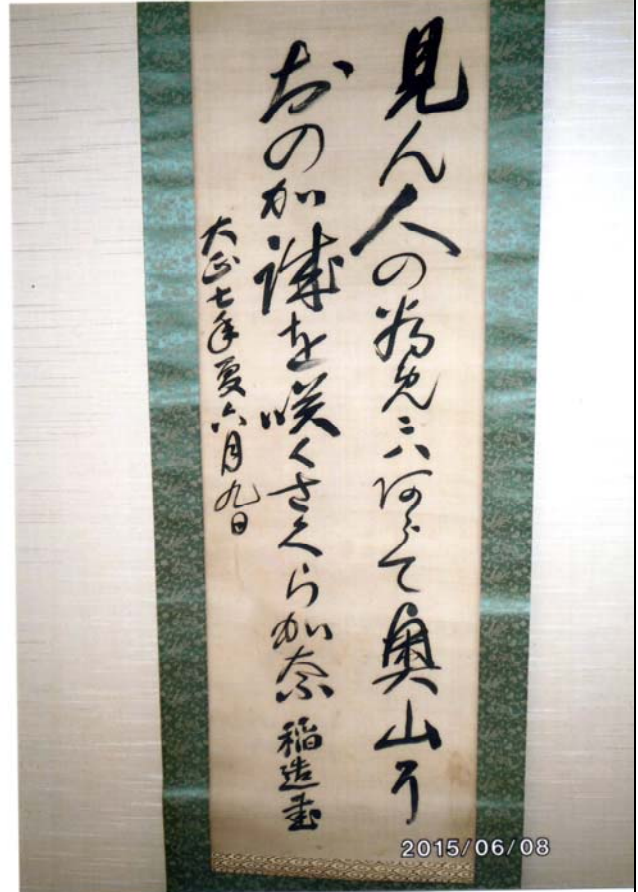
書は自作の短歌で、以下のように読みます。

見ん人の 為免(め)ニハ阿(あ)らて(で) 奥山耳(に)

おの加(が)誠を 咲くさくら加(か)奈(な) 稲造書

大正七年夏六月九日

新渡戸は才気に溢れていたため、その才を様々な分野から求められ、常に注目を浴びる立場で活動を続けました。自作の短歌は、そのような境遇の自身と引き比べ、奥山で人目に触れることなく咲く桜の花への憧憬を歌ったものと解釈できます。



寄贈資料の来歴について：

元々は、伊藤つね氏（日本女子大学校国文学部 2 回生，1905 年卒業，旧姓 山内）の旧蔵資料でした。伊藤つね氏が新渡戸から受贈したと思われます。

寄贈者である五十嵐晃彦氏のご尊父，故 五十嵐彦仁（ひこみ）氏が，親戚に当たる伊藤つね氏から譲り受け，所蔵されておりました。その後，彦仁氏の遺品として，晃彦氏が所蔵されてきました。

補足：

(1) 新渡戸稲造の略歴

- 1862 年 盛岡藩士の家に生まれる
- 1877 年 札幌農学校（現在の北海道大学）に第 2 期生として入学
- 1881 年 札幌農学校卒業
- 1884 年 アメリカに留学
- 1887 年 札幌農学校助教となり，ドイツへ留学
- 1891 年 札幌農学校教授に就任
- 1898 年 札幌農学校教授を辞職
- 1900 年 アメリカで“BUSHIDO : The Soul of Japan”（『武士道』）を出版
- 1901 年 台湾総督府技師に就任（～1904 年）
- 1903 年 京都帝国大学法科大学教授に就任（～1906 年）
- 1906 年 第一高等学校長に就任（～1913 年），東京帝国大学農科大学教授に就任（～1909 年）
- 1909 年 東京帝国大学法科大学教授に就任（～1925 年）

1918年 東京女子大学の初代学長に就任
1920年 国際連盟事務次長に就任（～1926年）
1926年 貴族院議員となる
1933年 カナダで逝去

(2) 五十嵐彦仁（いがらし ひこみ）氏の略歴

1900年 札幌に生まれる
1921年 北海道帝国大学予科に入学
1927年 北海道帝国大学農学部農芸化学科卒業、北海道庁技手となり北海道水産試験場に勤務
1946年 北海道水産試験場函館支場長に就任
1947年 「魚肉鮮度の低下により生ずる辛味成分と水産製品中に於ける其の分布並に之れが利用に関する研究」で農学博士号を取得
1952年 スルメイカ大量処理の研究、常水及び廃水の研究で第3回函館市文化賞（自然科学）受賞
1954年 水産庁北海道区水産研究所利用部長に就任
1967年 函館大学教授に就任
1988年 逝去

[主要な著書]

- ・『北海道に於ける鉱工業排水と水産被害』（北海道鮭鱒保護協力会連合会，1956年）
- ・『污水化学総論 上巻 主要汚水源とバイオ・アッセイ』（内田老鶴園新社，1971年）
- ・『污水化学総論 下巻 各種汚・廃水の処理』（内田老鶴園新社，1972年）

お問い合わせ先

北海道大学大学文書館 准教授 井上 高聡（いのうえ たかあき）

TEL : 011-706-2395 FAX : 011-706-2395 E-mail : archives@general.hokudai.ac.jp